

行事

入学を祝う会

四月八日にセンター内にあ
る都立墨東特別支援学校か
め分教室「入学を祝う会」を
執り行わせていただきました。
今年度は小学部二名、中学部
三名、高等部四名が入学しま
した。
御家族の皆様やセンターの

職員の皆様、教員、
たくさんの方々に関
われ華やかな会になりました。
ありがとうございます。新
入生九名、少し緊張しながら
も晴れやかな様子で新学期を
スタートし、個性をキラリと
輝かせながら一学期の学習を
進めています。

職員の方々に
まね華やかな会になりました。
ありがとうございます。新
入生九名、少し緊張しながら
も晴れやかな様子で新学期を
スタートし、個性をキラリと
輝かせながら一学期の学習を
進めています。



入学を祝う会で記念撮影

音楽鑑賞

ジャズコンサート

四月三十日、院長の紹介でジャズコ
ンサートが開かれました。ボーカルは
エイコ・ソラリスさん、ピアノがデニ
ス・ランバートさん、ウッドベースが
ジェフ・カリーさんでした。二階プレ
イルームの会場には、たくさんの方が
詰めかけ本場のジャズを堪能するこ
ができました。素敵なエイコさんの歌
声や、軽やかなピアノの音色、ズンズ
ンと響いてくるウッドベースの音に感
動しました。フィナーレに利用者から
花束を贈呈しました。「サンキュー」
と握手をさ
れ興奮と感
動のひと時
を過ごす事
ができました。



加我院長（左から二番目）
と演奏者の皆さん（エイ
コさんは左から三番目）

New!

移動水族館



泳いでいる魚の説明をスタッ
フから聞いている様子

四月二十三日と五月十
六日に、葛西臨海水族園
の移動水族館が来てくれ
ました。会場はセンター
駐車場でした。トララク
クによる展示では熱帯魚と
東京湾を泳ぐ魚たちを間
近に見る事ができました。
息遣いが聞こえてきそう
でした。ふれあいコーナー
ではナマコ、ウニ、ヒト
デ、カニに触れることが
できました。



ウニに触れる体験の様子

ぎゅっと握って
いる人や手をす
くめながら触っ
ている人など様々
な体験ができました
。また病棟内
に小さな水槽を
持ち込んだり、
熱帯魚やヒトデ
、ウニに触れる
こともできました
。素敵な体験で
した。通所や病
棟利用者、外
来の子どもたち
、近くの施設に
通っているお年
寄りも移動水族
館を充分楽し
みました。葛西
水族館のやさ
しいスタッフの
皆様ありがとうございました。

行事

入園式



入園式で記念撮影

四月三日、二階プレイル
ムにて、乳幼児通所「ぼれ
れ」の入園式が行われました。
今年度は二名の新入園児が
入園されました。入園式
当日は、天候にも恵まれ、
心地よい春風が吹く中、
新入園児の二人は緊張し
た表情で入場してきまし
ました。新しい環境に緊張
気味でしたが、お楽しみ
ゲームを来賓の方や在園
児、職員と一緒に
行うとお互いの距離も

通所

延長療育



通所延長療育の様子

今年の延長療育は七名程のメン
バーに分かれ、六月に三回、十月
に三回行われます。帰りのバスが
出る十五時三十分までは通常
通りですが、みんなを
送った後は三時間半の延長
療育の始まりです。ボクシング
やボウリングなどのゲーム大会、
好きな映画やお笑いの上映会、
エスタイム・のんびり夜の雲
団気を感じながら楽しみまし
た。病棟利用者からも「延長
療育に参加したい」という嬉
しい声が聞かれました。一緒
に映画を観たり、ご飯を一緒
に食べた時、恋愛トークをし
たり、たくさん参加して下さ
ったおかげで、とっても盛り
上がりました。十月もお楽し
みに！

「療育との出会い」

二階南病棟 看護師長 高橋 良枝

ふと気が付くと（いいえ、
本当はとくにきびいていま
した）、親元での田舎暮らし
よりも、都会暮らしの方が倍
以上の年月を重ねていました。
東京での生活は、ある意味
私の看護師としての歴史の
証とも言えます。

看護師になるきっかけ

なぜ看護師の道に入ったの
か？それはそんなに志の高いも
のではない。資格が得られる
ことで生活が保障されること
で生活が保障される、それで
いて人の役に立っている仕事
であれば、そんな単純な始
まりだったと思います。そん
なに地元に企画された『一
日看護体験』への参加。
初めての白衣姿に気持ち
の高ぶりを覚えていました。
参加したその施設は田舎



満開な桜並木をバックにみんなで撮影

の温泉病院でした。大半
の方が遠方からの入院患
者様で、社会復帰に向け
リハビリに励んでおられ
ました。その中のお一人、
丁度自分の親ほどの歳の方
だったでしょうか。私とし
ては、話に耳を傾けるのが
精一杯の対応でした。

た。「リハビリ頑張っ
てくださいね。」別れ際
に掛けた何気ない一言に、
途端に大粒の涙を流して
「ありがとう。」と、言葉
を詰まらせました。きつ
と様々な心境が入り混ざ
ったの涙だったのだろうと
思います。その経験が「
看護師になるう！」とい
う私の決意を強めること
になりました。

療育との出会い

「子どもが好きだから小
児科の看護師さんがいい
なあ。」なんて夢も抱
きましたが、小児科実
習で脳性麻痺の幼児を受
け持ったとき、何も
話せない、何も
できない、そんな患
児に対して何を
するべきかに戸惑い
を感じ、自分の無力
さを痛感したもので
す。まだ学生だから
仕方ないとも思
いましたが、改めて
看護師の難しさを
学びました。

結局、看護師として脳
神経外科病院で経験を積
み、その後リハビリテ
ーション看護に携わり、そ
して現在の重症心身障
がい児・者に巡り合
いました。振り返ると、
私の看護の中には、常
に「障がい」との関わり
があると思います。少
なからず療育の分野
においても、新生児
医療や救命救急医療
の発展から、その



みんなで記念写真
(還暦を祝う会にて)

重症度の高まりは言うま
でもありません。人に委
ねて生きるという言葉
がどういふことなのか。
小児科実習での苦しい
経験から、その障がい
だけに目を向けるのは
なく、個人を尊重し、
細やかな配慮、暖かさ
を思っています。開
設して間もない時期に、
利用者の親御様から
「この子を一人の人間
として対応してくれて
ありがとうございます。」
この言葉に、看護の
原点はここにあると感
じました。当センター
の開設から携わって、
あつという間の十年
ですが、利用者との
関わりを日々励みに、
センターと共に成長
していきたいと思
います。



会場の様子 (新潟県湯沢町にて)

五月十五日、十六日の二日間、新潟県湯沢町において重症心身障害児者の医療・福祉の向上を図ることを目的に全国施設協議会が開催され、各施設の直面する課題に対する研究成果の発表や将来の方向について協議が行われました。開会にあたり事務局を努めた長岡療育園の小西徹園長から歓迎の挨拶があり、引き続き、主催者である福祉協会の木実谷哲史理事長が開会の挨拶を行いました。今回は、在宅の重症心身障害児者を、施設としてどのようにケアしていくかをテーマに協議が行われました。

十五日は、厚生労働省の障害福祉専門官から障害児支援について、行政説明があり、また、NICU重症児の在宅医療連携について、埼玉医科大学総合医療セン

学会報告

第十一回ヨーロッパ小児神経学会議 (EPNS 2015) に参加して

院長 加我 牧子



オーストリアセンター 第11回ヨーロッパ小児神経学会議会場 (ウィーン)

五月二十七日三十日にウィーンで開催されたEPNS 2015は日本小児神経学会(大阪)と重なっていたこともあり、日本から

施設利用 プール活動



プール活動における緊急時対応訓練の様子

新年度を迎えプール活動も開始しました。療育部では毎年二名の職員(主に療育部職員)を心身障害児総合医療療育センターのプール研修に送り出しています。三日間の研修で、プール指導の腕を磨い

て帰ってきます。まず院内研修である「プール研修」の講師を務め、その後、日々のプール活動で実践していきます。当センターの温水プールは年間使用となっています。入所されている方、通所されている方のほか、開放事業として地域の障害者施設の方々が利用されています。また、毎月人工呼吸器を装着されている方のプール活動も行っています。この時には病棟スタッフの他に医師、理学療法士の協力を得て実施しています。

地域活動

看護の日



健康チェックのイベントの様子 (スナモにて)

ナイチンゲールの誕生日である五月十二日は「看護の日」と制定されています。

東部療育センターでも、南砂町ショッピングセンターナモで看護師による健康チェックのイベントを開催しました。たった二時間で五十名以上の地域の方々に参加をしていただき、大盛況に終わりました。待ち時間には、東部療育センターについてDVDや写真などで紹介し、普段療育に関わりのない方にも興味をもっていただく良い機会になったのではないかと思います。

報告

入所・通所者懇談会

五月十八日に通所、六月十三日に入所のご家族、成年後見人の方とセンター側との懇談会を実施しました。同日とも、センターの第三者委員である高原委員、須田委員にも参加いただきました。

その他、ご家族や成年後見人の方からのご意見としては、職員の定着や質、職員に対する要望・意見の伝え方についてのご意見や、通所日数や行事等の実施について、入所者の特別支援学校(分教室)卒業後の対応等の質問もありました。今回頂いたご意見も参考に、今後より良いサービスを提供していきたいと思っております。

東部あれこれ

四月から六月の話題です。

【四月】

新規職員を迎え新年度がスタートしました。今年は守る会としての指定管理も更新され、新たな船出となりました。

成人通所で五名、乳幼児通所では二名の新しい仲間が加わり活気のある活動が始まりました。また、かもめ分教室では先生方の異動もあって、入学、進級した学齢児達が新鮮な雰囲気の中で勉強が始まりました。

【五月】

五月五日は端午の節句。昼食にはちらし寿司が振舞われ、皆で健やかな成長をお祝いました。

病棟や通所では外出活動やバスハイイクが始まり、グループごとに上野公園や日本未来科学館、日テレ、お台場などへ出掛けました。乳幼児通所も春の遠足で中央区のタイムドーム明石へ出掛け楽しみました。

ボランティア紹介

通所 大芝 美智子さん



三年ほど前から、月に一回ほどのペースで通所に来ています。私の娘も重度心身障害児で、東部の外来やショートステイでお世話になっていて、何かきっかけがほしいです。

「私のこと覚えてる？」と尋ねる。役に立てるというイメージですが、今の私はそうではなく、活動の中で一緒に楽しませていただいているといった様子です。利用者さんに「私のこと覚えてる？」と尋ねるとYESと合図をしてくれたこと、視線が合ったこと、問いかけに笑顔を返してくれたこと、最近の出来事を話してくれること...そういうことが私自身の喜びとなっています。通所の利用者さんたちにとって「ちょっと知り合いのおばさん」になれたら幸いです。

編集後記

梅雨時に最も似合う花、紫陽花の青、紫がとても綺麗で、この花が大好きな担当者です。もう少しで、梅雨も明け、暑い夏がやってきます。良く食べ、休養を取って体調を整え、暑さに負けないように暑い夏を乗り越えましょう。

新規採用された皆さん

- ◆看護士 菊池 なつみ さん
- 鬼頭 由子 さん
- 関戸 淑子 さん
- 田中 亮 さん
- 土田 三咲 さん
- 府川 久美子 さん
- 山崎 雅弘 さん
- 横溝 政弘 さん
- 酒井 暢子 さん
- ◆児童指導員 大田 由理 さん
- 佐原 葉咲 さん
- 藤本 貴子 さん
- ◆保育士 小山 菜穂子 さん
- 山中 彌生 さん
- 浅野 有美 さん
- ◆介護福祉士 上野 裕子 さん
- ◆歯科衛生士 山崎 美貴 さん
- ◆事務 大野 賢治 さん
- 秋山 健之 さん

←これまでのわか草をご覧になりたい方はこちらからどうぞ

